

令和元年、やぶ蚊に悩まされる季節がやってきました

～ 地域全体での取り組みが必要です ～

地区委員会での班長さんの一言です。皆さんはどのように感じていますか。
やぶ蚊（ヒトスジシマカ）に悩まされていませんか。

- ・ 庭でくつろげない。
- ・ 庭仕事もできない。
- ・ 水撒きもできない。

やぶ蚊は、家のまわりにあるごくわずかな「溜まり水」から発生します。

やぶ蚊の発生を減らすために、定期的にボウフラ（幼虫）が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう（幼虫は1～2週間で成虫になります）。

また、下草（雑草）を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。



※ 一軒、一軒、地域ぐるみでの取り組みが必要です。

[ヒトスジシマカ]

背中に1本の白い線がある3～5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ごろまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。

特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50～100m程度です。

◆蚊に刺されないために

- ・ 虫除けスプレー
- ・ 長袖シャツ、長ズボン
- ・ 庭仕事では扇風機が効果的

●なぜ対策が必要か？

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。
原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

【雨水枡へのやぶ蚊対策について(例)】



開けてみるとビックリ！

- ボウフラが発生しているではありませんか！！

蓋の穴から蚊が入って卵を産み付けているのでしよう。



雨水枡の蓋の穴は必要？

- 点検の際に容易に開けられるように。
- 大雨になった際、庭に溜まった雨水がこの穴から流れ落ち、庭が雨水で溢れないようにする。

↓

網戸対策後は、砂利や砂埃が溜まるので定期的な清掃が必要となります。